

(社)富士見町開発公社の経営状況をお知らせします

パノラマ事業を堅実に維持・発展させるために、町民の皆様のご理解を頂き「賃貸料の支払方法の変更」などにより、町の支援を明確にしながら経営改善を図っております。

ここで平成17年度の決算がまとまりましたので、開発公社の経営状況等をお知らせします。

平成17年度決算状況

平成17年4月1日～平成18年3月31日（単位：千円）

	本社会計	収益事業会計	特 別 会 計				
科 目	本社会計	パノラマ リゾート 事業所	川崎市 八ヶ岳少年 自然の家	多摩市立 八ヶ岳少年 自然の家	多摩市立 市民保養所 ふじみ	京都市 職員厚生会 八ヶ岳山荘	合 計
収 入	40,514	788,986	386,790				1,216,290
支 出	26,084	663,660	386,790				1,076,534
差 引	14,430	125,326	0				139,756

（端数処理をしています）

パノラマリゾート事業の売上計画額835,080千円に対し788,986千円と計画比約95%でしたが、前年比（収入）で見ると102%と伸びており、今後は更に魅力あるリゾートとして、ボランティアで進める植栽活動やアツモリ草展・パイ カーズフェスティバル等のイベントの開催も含めて、入場者の拡大に努めます。

夏の利用客数は、52,826人で前年比102.4%、冬の利用客数は、144,638人で前年比103.2%でした。

平成17年度末の累積損失は1,344,042千円に減少しました。

開発公社の借入金残高は17年度末に153,600千円を返済し1,996,938千円、町の観光施設貸付事業特別会計の借入残高は17年度末に180,210千円を返済し2,523,580千円、町と開発公社を合わせた借入金残高は、17年度末で4,520,518千円となっています。

平成18年度事業計画

平成18年4月1日～平成19年3月31日（単位：千円）

	本社会計	収益事業会計	特 別 会 計				
科 目	本社会計	パノラマ リゾート 事業所	川崎市 八ヶ岳少年 自然の家	多摩市立 八ヶ岳少年 自然の家	多摩市立 市民保養所 ふじみ	京都市 職員厚生会 八ヶ岳山荘	合 計
収 入	28,588	840,000	364,570	180,933			1,414,091
支 出	25,055	645,804	358,474	180,933			1,210,266
差 引	3,533	194,196	6,096	0			203,825

* 川崎市八ヶ岳少年自然の家について、効果的、効率的な管理運営を図ることを目的に、指定管理者として川崎市より指定を受けました。

スキー場活性化のアイデア創出として、諏訪東京理科大学3年生81人が正規授業の「総合演習」で取り組んでおり、学生のアイデアにも期待しています。

開発公社副理事長（名取助役）から説明を受ける学生たち ▶

